

事務事業名		学校屋体等非構造部材耐震化事業		会計	一般会計	実施区分				
H28担当課等名		学校教育課	H28係等名	学校施設係	事業種別	政策	開始	24	終了	27
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
		施策	22	義務教育の充実						
目的	対象(誰・何を)	小・中学校の屋内運動場、武道場の非構造部材(吊り下げ式の照明器具、天井)			対象指標	指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・大地震の際にも安心・安全な施設利用 ・地域避難施設としての機能確保				中学校の体育館、武道場		13		
	向上させたい上位施策の成果指標	良好な環境で授業を受けることができる児童生徒数				小学校の体育館		21		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	吊り下げ式の照明器具の落下防止措置ができた施設数			34	34	—	—		
	定性目標									
事業概要	<p>○校舎や体育館施設の構造部材(躯体となる骨組みなど主要な構造部分)に係る耐震化対策は、平成23年度までに全ての小・中学校において完了したが、非構造部材(窓ガラス、照明、天井等)についても安全確保の観点から調査を行い、必要な措置を講ずる旨の提言が国から示された。とりわけ各小・中学校の体育館は、各地区の避難施設にも指定されており、早急の改修が求められた。</p> <p>○該当施設の窓ガラス飛散防止は平成23年度までに終了していたので、吊り下げ式の照明器具、バスケットゴール、天井部材等の落下防止について、平成27年度までに対応することとした。なお、平成24年度から補助メニューに加わった400万円以上の非構造部材耐震化工事を対象とする学校施設環境改善交付金を活用した。</p>									
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標			
	<p>1 屋内運動場や武道場の天井や照明器具、バスケットゴールなどの非構造部材を落下防止する工事を行い、学校屋体等非構造部材耐震化事業は、平成27年度をもって、一区切りついた。</p> <p>なお、足場を組む天井等の改修の際に、LED化に努め、工事経費及び維持管理コストの削減に努力した。</p>				1 非構造部材耐震化できた施設数		1 34校			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		12,301	33,538	33,523	0	(国) 学校施設環境改善交付金(1/3) (地) 全国防災(充当率100%) 3,900千円 (地) 緊急防災・減災(充当率100%) 27,400千円				
国庫支出金			1,987	1,987						
県支出金										
起債		12,200	31,300	31,300						
その他										
一般財源		101	251	236						
人件費計(千円)②		1,287		1,287						
正規職員所要時間		360		360						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		13,588	33,538	34,810	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り		授業への影響を最小限にするため、夏休み期間内に工事ができるよう段取りするも、十分な工期を確保できないのが、学校施設関連工事の苦慮する点であったが、当該非構造部耐震化事業は、平成27年度をもって終了することができた。								
改革改善の考え方	①問題点	平成25年8月の文部科学省の新指針により、平成27年度までに体育館等の非構造部材の耐震化と、原則として天井を撤去する旨が示されたため、期限までに実施する必要がある。								
	②改革提案	27年度に当該事業を終了する。								